

# 第76回 医学教育セミナーとワークショップ



2020年 5月 23日(土) ~ 24日(日)

eケースカンファレンス 5月23日(土)9:00-11:00

**ML** 学生支援の「お悩み相談室」

企画：川上ちひろ (MEDC)、堀田 亮 (岐阜大学)、船越高樹 (国立高等専門学校機構)

ランチオンWebinar-1 5月23日(土)11:30-13:00

**ML** 教学IRとデータマネジメント ~組織間を繋ぐデータ作りを目指して~

企画：恒川幸司 (MEDC)、浅田義和 (自治医科大学)、江端弘樹 (帝京大学)

eWS-1 5月23日(土)13:30-15:30

**TL** EBM教育とナラティブ ~“患者の語り”から問題を定式化しよう

企画：中山健夫 (京都大学)、佐藤(佐久間)りか・射場典子・別府宏園 (認定NPO法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン)、青木昭子・瀬戸山陽子 (東京医科大学)

eWS-2 5月23日(土)16:00-18:00 **FELLOWSHIP**

**TL** 医療者教育を表現する - 学びと成長を促すために -

企画：今福輪太郎・恒川幸司・川上ちひろ・早川佳穂・西城卓也 (MEDC)、猪田宏美 (岡山大学)

eWS-3 5月24日(日)9:00-11:00

**TL** しくじり医学教育者 ~教育実践の失敗から学ぶ~

企画：清水郁夫 (信州大学)、鋪野紀好 (千葉大学)、浅田義和 (自治医科大学)

ランチオンWebinar-2 5月24日(日)11:30-13:00

**ML** COVID-19パンデミック、医療者教育、そして教員養成

話題提供：清水郁夫 (信州大学)、座長：西城卓也 (MEDC)

## 参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。

「MEDC」で簡単検索できます。

参加費  
無料

**締め切り：2020年 5月 10日(日)**

ワークショップ運営上、各々定員を設けております。申込順にて受け付けいたしますので、ご了承ください。

なお、当日参加は受け付けません。

今回は、「ZOOM (Web会議システム)」を利用します。

今後の改善の参考にするため、ワークショップ等を録画いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

今後の社会情勢によっては、開催に変更があるかもしれません。

第77回  
関西医大

2020/10/3-4

第78回  
岐阜

2021/1/22-23

第79回  
岐阜

併催

第22回教務事務職員研修  
2021/5

## e ケースカンファレンス 学生支援の「お悩み相談室」

ML

企画： 川上ちひろ（MEDC）、堀田 亮（岐阜大学）、船越高樹（国立高等専門学校機構）

概要： 授業・実習など教育の場で学生を支援するときに、難しさを感じたことはありませんか？「どうやって接したらいいのだろう？」「授業資料をどう作ったらいいのだろう？」「法律や規則はあるのか？」など、いろいろなことで悩まれると思います。このWSでは、多様なニーズがある医療系学部の学生支援に関する質問を事前に受け付け、当日はどのような支援が必要なのか参加者の皆さんと一緒に考えます。

対象： 学生支援に携わっている教職員、この内容に興味がある方

定員：20名

## ランチョンWebinar-1 教学IRとデータマネジメント ～組織間を繋ぐデータ作りを目指して～

ML

企画： 恒川幸司（MEDC）、浅田義和（自治医科大学）、江端弘樹（帝京大学）

概要： 分野別評価の普及によって、各大学の医学部には近年、教学IR（Institutional Research）部門が設立され、データを基にした医学教育の改革が実施されつつある。しかしながら、実際にIR部門がもたらす教学データはIRの実践には不向きな場合が多く、取り扱いに難渋しがちである。そこで、本セミナーでは、教学IRとデータマネジメントに関して、基本的な話題を提供しつつ、どのようなデータマネジメントが教育改善に資するのか、またデータを保有する教務系職員との関係性について考えてみたい。

対象： 医療系教務事務職員・IR（Institutional Research）を業務とする教員・職員

定員：20名

## e WS-1 EBM教育とナラティブ ～“患者の語り”から問題を定式化しよう

TL

企画： 中山健夫（京都大学）、佐藤（佐久間）りか・射場典子・別府宏園（認定NPO法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン）、青木昭子・瀬戸山陽子（東京医科大学）

概要： 近年医療系モデル・コア・カリキュラムにおいてEBM教育の重要性がうたわれていますが、これまではEBMの5ステップのうちのステップ2「情報収集（文献検索）」とステップ3「情報の批判的吟味」という技術面の指導に力点が置かれがちで、本来臨床で最も重要なステップ1「問題の定式化」、ステップ4「情報の患者への適用」については有効な教授法が確立されていません。長年“患者の語り”の収集とデータベース化を進めてきたDIPEX-Japanでは、オンライン動画を用いて患者の価値観や期待を理解した上で問題の定式化や患者への適用を行うことを学修目標とした実習プログラムの開発に取り組んでいます。ワークショップでは、実際のプログラムの一部を体験していただき、患者主体のEBM教育についてディスカッションを行います。WEB開催のため反転授業の形をとり、参加者には事前アンケートと課題予習をお願いしますので、ご協力ください。

対象： 医療系学生に対する、もしくは医療者の卒後研修としてのEBM教育に関心を持つ人

定員：20名

## e WS-2 医療者教育を表現する – 学びと成長を促すために –

FELLOWSHIP

TL

企画： 今福輪太郎・恒川幸司・川上ちひろ・早川佳穂・西城卓也（MEDC）、猪田宏美（岡山大学）

概要： 学習者が受動的から能動的に、依存的から主体的になるためには、教育者は何ができるでしょうか。長期的な観点から医療者としての学習者の「成長」を促すためには何ができるでしょうか。となく、「研修生のやる気を出させることまで指導者の仕事なのか」「積極性のない学生は何をしても響かない」などと、教育者の視点のみで教育を議論しがちです。そのようなパラダイムから脱却するには、どうすればいいでしょうか。本WSでは、参加者がこれまでの教育実践や学習経験のエピソードを持ち寄りながら、主体的・対話的で深い学びを引き出す仕掛け・評価・成長を促す支援について考えます。

対象： フェロシッププログラム メドギフト2020参加者限定（一般の参加者は受け付けておりませんのでご了承ください）

## e WS-3 しくじり医学教育者 ～教育実践の失敗から学ぶ～

TL

企画： 清水郁夫（信州大学）、鋪野紀好（千葉大学）、浅田義和（自治医科大学）

概要： 医療者教育において、学習者が「失敗から学ぶ」ことの重要性が近年注目されております。しかし、それは教育者にとっても同じではないでしょうか。医学教育者は日々さまざまな教育実践に取り組んでいますが、全てが上手くいくわけではありません。重要なのは、そのような失敗には必ず原因があるということです。原因を分析して振り返り、次につなげることで、よりよい教育が行えるようになるはずです。本ワークショップでは、そのような教育実践の失敗すなわち「しくじり」事例の振り返りを行えるようになることを目指します。典型的なしくじり事例をグループワークで分析し、振り返りを通して、医療者教育において起こりうる失敗、教育実践の振り返り手順とその注意点等を共有することを目指したいと思います。

対象： 医療者教育に携わっている方。職種、経験の有無は問いません。

定員：20名

## ランチョンWebinar-2 COVID-19パンデミック、医療者教育、そして教員養成

ML

話題提供： 清水郁夫（信州大学）、座長：西城卓也（MEDC）

概要： COVID-19パンデミックをうけ、世界の教育が大きな変革のうねりに飲み込まれています。医療系大学においては、elearningが導入されたり、大学のシステムもすさまじいスピードで見直されています。elearning活用、従来の私たちの教育はどうだったのか？これから我々教育者は何をすべきで、何をすべきではないのか？次々に湧き上がる問いは、教員のパラダイムにゆさぶりをかけています。今回は信州大学の取り組みをトリガーに、医療者教育における教員養成についてオープンな意見交換を行います。

対象： 医療者教育に携わっている方。この話題に興味がある方。

定員：20名